

予算編成過程の透明性を図る予算開示と 予算編成への住民参加

京都府京丹後市

人口：64,365 人

面積：501.84 km²

取組の概要

予算の編成過程の透明性を図るため、要求から査定経過までを含め予算編成状況をホームページで公開するとともに、査定結果に対して市民の意見を聴き、予算編成に反映させている。

取組の紹介

1 取組の背景

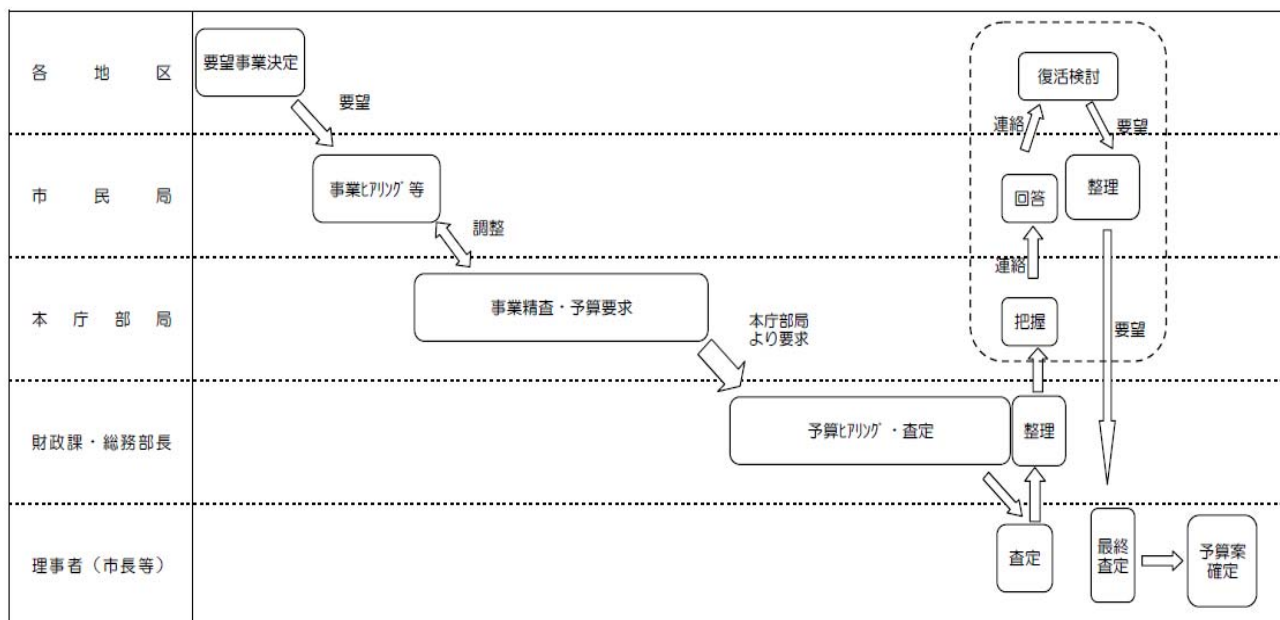
- ・ 京丹後市は、平成 16 年 4 月 1 日に 6 町が合併して誕生し、合併後も行財政を取り巻く状況は大変厳しく、行財政改革に取り組んでいるところである。
- ・ こうした状況の中で、市民との協働による市政構築のための環境整備の一環として予算編成過程の透明性を高めるとともに、市民総監視・総参加の中で協働して市政を運営していく環境づくりが必要であると考えた。

2 取組の具体的内容

- ・ 予算の編成過程については、平成 17 年度当初予算の編成時から予算編成方針及び各部局からの要求事業内容及びその査定状況をホームページで公開している。査定状況は、財政課・総務部長査定、市長査定をそれぞれの段階で随時更新している。
- ・ また、特に当初予算編成においては、各部局が予算要求するまでに市内各地区（231 地区）からの要望事業（平成 18 年度当初では、1,979 事業（主に生活に直結している道路の維持補修や新設改良事業のほか、地区が抱えている課題の解決に関するもの））について意見交換し、部局内調整された要求について財政課・総務部長段階で査定している。
- ・ 予算案の確定前に査定結果を公開するとともに、査定結果を全て各地区に通知し、地区からの再要望を受けて一部見直すなど、市民総監視・総参加の中で再調整を行っている。
- ・ また、予算議決後には、市民向けの予算説明書として、その年度に実施する主な事業の具体的な内容をわかりやすい言葉と図表や写真で説明した「わかりやすいことしの予算書」を作成し、市内全世帯へ配布している。

- ・ さらに、ホームページにおいては、予算・決算の概要のほか、決算カードや財政比較分析表などの財政情報についても掲載している。

【予算編成における地区要望事業の取り扱いフロー】



【ホームページ公表内容】

京丹後市
きょうたんごし

ひと、あす、みどり。
歴史と文化が織りなす交流のまち。

公共施設予約 京丹後市へのアクセス お問い合わせ

トップ > 市の財政

市の財政

市の予算・決算の概要を公開しています

新着情報

- ❑ 平成19年度当初予算について(平成19年度 当初予算の概要)
 - I 予算編成方針を公開しています
 - II 予算編成過程を公開しています(各部局要求額集計) **! NEW**
- ❑ 平成18年度3月補正予算について(平成18年度 補正予算の概要)
 - I 予算編成方針を公開しています **! NEW**
- ❑ 平成18年度12月補正予算について(平成18年度 補正予算の概要)
 - I 予算編成方針を公開しています
 - II 予算編成過程を公開しています(市長査定額集計)
 - III 予算の概要を公開しています
 - 一般会計補正予算(第6号)の歳入・歳出分析、地方債の状況、主な補正内容
 - 一般会計及び特別会計における基金の状況(12月補正予算後)
- ❑ 平成17年度決算の概要(平成18年9月1日現在)を公開しています(平成17年度 決算の概要)
- ❑ 平成18年度上半期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)における京丹後市の財政状況を公表して(財政課内での閲覧のみ)
- ❑ 平成18年度予算のあらまし(わかりやすい)ことしの予算を公開しています(平成18年度 当初予算)
 - 市の取り組みや財政状況を市民のみなさんに知っていただくため、18年度の事業や基金・市債の状況を用いた財政分析などを紹介した冊子を昨年に引き続き作成しました。
 - 図表などを活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけています。
- ❑ 京丹後市の財政比較分析表及び決算カードを公開しています

財政情報

- ❑ 予算の概要
 - ・平成16年度当初予算の概要
 - ・平成16年度補正予算の概要
 - ・平成17年度当初予算の概要
 - ・平成17年度補正予算の概要
 - ・平成18年度当初予算の概要
 - ・平成18年度補正予算の概要
 - ・平成19年度当初予算の概要
- ❑ 決算の概要
 - ・平成16年度決算の概要
 - ・平成17年度決算の概要
- ❑ 決算カード

決算カードとは、各年度の地方財政状況調査(いわゆる決算統計)の集計結果に基づき、各都道府県・市町村ごとの普通会計歳入・歳出決算額、各種財政指標等の状況について、団体ごとに1枚のカードに取りまとめたものです。

 - ・平成16年度決算カード(市作成) (PDF 105KB)
 - ・平成17年度決算カード(市作成 暫定版) (PDF 108KB)

⇒ 全国自治体の決算カード(総務省ホームページ) ※全都道府県、全市町村の決算カードを掲載しています。
- ❑ 財政比較分析表
 - 財政比較分析表について (PDF 94KB)
 - ・財政比較分析表(平成16年度決算) (PDF 72KB)

⇒ 全国自治体の財政比較分析表(総務省ホームページ) ※都道府県、政令指定都市、市町村(特別区を含む)、政令指定都市を除くことの財政比較分析表を掲載しています。
- ❑ 京丹後市の財政状況

京丹後市財政状況の作成及び公表に関する条例(平成16年条例第76号)に基づき、京丹後市の財政状況を公表しています

現在、平成18年度上半期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)における財政状況を財政課内で閲覧していただけます。

 - 平成18年度予算の状況を中心に対象期間における補正予算と執行状況、市債や基金の現在高についてのあらまし
 - 平成18年10月2日に認定を受けた平成17年度決算の概要についてのあらまし など

▲このページのトップへ

【わかりやすいことしの予算書】

広報 **むすたんこ** 号外

平成18年度 予算のあらまし

わかりやすい ことしの予算

■ひと・もの・ことが行き交う
交流経済都市

■共に働き、結び合う
パートナーシップ都市

■次代を担う若い力が活躍できる
生涯学習都市

■暮らしの中でいのちが輝く
環境循環都市

■生きる喜びを共有できる
暖やかな心都市

■災害に強く、快適で暮らしやすい
うらおい安全都市

新・丹後王国の創造に向けて

平成18年4月
京都府 京丹後市

ます。(平成26年度までに建設を予定しています)

良好な住環境の整備に努めます

■木造住宅の耐震診断【土木費】(新規) 56万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

耐震性の低い建物は、地震のときにお住まいのかたを危険にさらすだけでなく、倒壊して避難路などをふさいだり、救命・消火活動の妨げや火災になる可能性が高いといわれています。

対象になる建物は、昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造240㎡以下の住宅で、京都府に登録している耐震診断士により現地での診断を受けることができます。

診断に要する費用3万円のうち、交通費相当分の2,000円のみ個人負担となります。

詳しくは「きょうたんこおしらせ版」などでご案内します。

■街なみ環境整備事業【土木費】(継続) 4,026万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

久美浜一區の一部地域で、伝統的な街なみの保全と生活基盤の整備を行い、ゆとりと暮らしのある住宅地づくりをします。(平成16年度～平成25年度)

●主な経費

○久美浜一區まちづくり協議会への活動補助金 40万円
○市道仲町引土線の道路美観化工事 3,500万円
○街なみ整備助成(決められた区域の個人住宅で伝統的な街なみにあわせた修繕工事をする場合、経費の一部を補助します) 400万円

■市営住宅松岡団地の建築【土木費】(継続) 671万円
(建設部 都市計画・建築住宅課)

網野町下町にある市営住宅松岡団地(木造20戸)が平成17年度に完成しました。

今年度は、昨年度に引き続き、団地内の道路整備を行います。(平成16年度～平成20年度)



完成した市営住宅

6 地域交通の確保

市内の除雪能力向上に努めます

■自治会への除雪機械の貸与【土木費】(拡大) 2,258万円
(建設部 管理課)

平成17年度から、大型除雪機械での作業ができない狭小な市道の除雪や未除雪区間の解消を図るため、小型除雪機械を自治会に貸与しています。

今年度も新たに12台の小型除雪機械を購入し自治会への貸与を行います。冬期道路の安心・安全の確保ができることと、通学路の除雪や高齢者世帯の除雪にも活用することができるなど、市民のみなさんとの協働によるき



平成17年度に購入した小型除雪機械

の細かい除雪に役立ちます。

●主な経費
自治会に貸与する小型除雪機械の購入費(12台) 2,258万円

駅を利用されるかたの利便性の向上に努めます

■網野駅駐輪場の整備【総務費】(新規) 393万円
(生活環境部 市民課)

網野駅の慢性的な駐輪場不足を解消し、網野駅を利用されるかたの利便性の向上を図るため、屋根付きの駐輪場を増設します。

現在は20台分しか駐輪できませんが、駐輪場の増設により約80台分を駐輪することができ



整備が急がれる網野駅の駐輪場

6 上下水道の整備

水質を保全し、快適な生活環境を実現します

■公共下水道事業特別会計【総務費】(継続) 28億9,400万円
(上下水道部 下水道課)

市内に流れる河川や海などの水質を保全し、豊かな自然環境を守り、快適で衛生的な生活環境をつくるために下水道の整備に取り組んでいます。

○公共下水道の整備

終末処理場の建設(峰山・網野処理区) 4億1,400万円
峰山地域の管きよ布設工事ほか 2億5,400万円

○特定環境保全公共下水道の整備

終末処理場の設計・建設(橋・丹後処理区) 7,400万円
ポンプ場の建設(久美浜処理区) 2億9,560万円

大宮・網野・久美浜・丹後地域の管きよ布設工事ほか 5億7,010万円

■集落排水事業特別会計【総務費】(継続) 4億4,000万円
(上下水道部 下水道課)

農業集落排水事業は、農村部における生活排水やし尿を小規模に集めて処理を行い、きれいに浄化した水を農業用水路や河川に戻すための事業です。

久美浜町内の7つの集落の農業集落排水施設を平成18年度～平成23年度の6年間で整備します。

○左瀬南地区農業集落排水資源循環統合補助事業 7,190万円

翌年度から工事に着手するための測量設計業務を実施します。

○農業集落排水汚泥減量化設備の整備 805万円
下水処理場から発生する余剰汚泥は、今後水質化が進むほど増えてきます。汚泥処理施設の整備や汚泥の処理費用などが大きな課題となっています。この課題の解決のため、余剰汚泥の発生を少なくするための汚泥減量化設備の整備に取り組みます。

3 取組の効果

- 予算編成の情報を公開することで、予算編成過程の透明性を高めるとともに、地区要望に関する査定結果の開示や地区の意見聴取を通して市民の声が予算編成に直接反映されることにより市民の関心を高め、市民総監視・総参加の中での予算編成と、市民との協働による市政構築のための情報提供ができた。

4 取組中の課題・問題点

- 市民へのわかりやすい表現や様式作成が課題であり、また、いかに予算編成作業をリアルタイムで開示できるかが求められているため、出来る限りわかりやすい表現と可能な限り早期の情報開示に努めている。

5 住民の反応・評価

- 市民からは市政への関心が喚起されたとの評価がある一方で、要望却下の理由が不明瞭であるという指摘がある。
- 市民向けの予算書「わかりやすいことしの予算」の作成は、従来の予算書を見ても市が何をしているのかわからなかったが、この冊子により市民生活に関わる行政サービスが良くわかると評価を受けている。

6 今後の課題

- ・ 市民と行政がどれだけ情報を共有できるか、また、現在の公表方法を再検討し、よりわかりやすい公表方法を研究していくことが課題である。
- ・ さらに、不採択事業や復活基準についての検討など、市民へのより丁寧な説明が求められている。
- ・ 特に再要望事業については事業効果、緊急性等を考慮し、理事者最終査定において判断している。また、市の財源状況が年々厳しくなっていく一方で、住民要望は増加傾向にある。こうした中、行政として緊急性、事業効果及び財源の確保状況と住民要望とを総合的に判断し、事業選択しているのが現状である。

7 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 市民へのより積極的な情報開示と開示方法については、行政の一方的な開示にならないよう、市民への有益な情報となるようなわかりやすい内容で開示することが必要である。

(参考) 当該取組内容の関連ホームページ

<http://www.city.kyotango.kyoto.jp/kyotango/yosan/>

担当部署：総務部財政課